

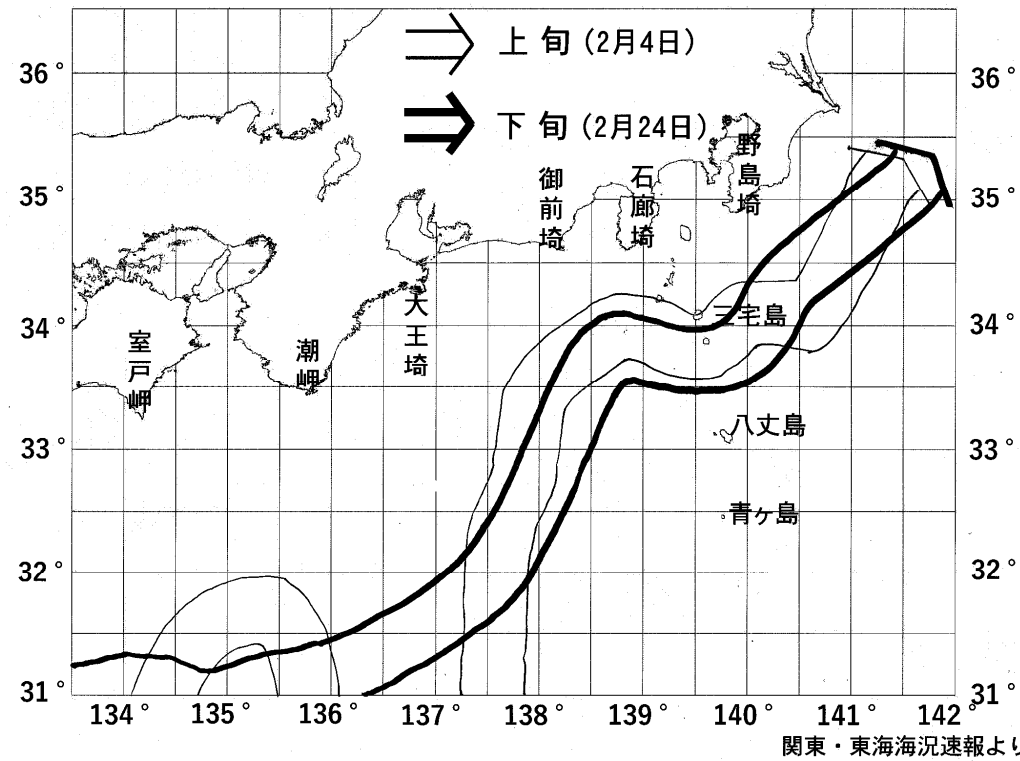
# 漁海況月報

令和4年2月1日

No. 2 ~2月28日

静岡県水産・海洋技術研究所  
(電話 054-627-1815)

静岡県水産・海洋技術研究所 伊豆分場  
(電話 0558-22-0835)



2月定地水温の旬平均値(°C) (下段は平年偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津
上旬	14.5	15.0	14.7	15.6	14.8	15.1
	0.4	0.3	0.4	1.3	0.7	1.0
中旬	14.5	15.0	14.8	16.1	15.1	15.3
	0.7	0.5	0.7	1.6	0.8	1.2
下旬	14.2	14.8	13.8	15.0	15.0	15.0
	0.4	0.3	-0.3	0.6	0.7	1.0
月	14.4	14.9	14.5	15.6	15.0	15.2
	0.5	0.4	0.3	1.2	0.7	1.0

\*地頭方の水温観測は終了しました。

\*2022年平年値(1990-2021年の31年平均値)

## [黒潮流路]

上旬~中旬にかけて遠州灘沖にある冷水渦の切離に伴い、潮岬以東の最南下位置が北上する流路となった。

上旬は潮岬を大きく離岸し、大王埼沖28°N付近まで南下した後に、石廊埼沖まで北上する流路となり、熊野灘、遠州灘、駿河湾、大島東西水道に向けて暖水波及が見られた。

中旬は潮岬沖31.5°N付近まで大きく離岸し、大王~石廊埼沖を北西に北上する流路となり、北上部が石廊埼に接近した。また、熊野灘、遠州灘、駿河湾、大島東西水道に向けて暖水波及が見られた。

下旬は潮岬沖31.5°N付近まで大きく離岸し、大王~石廊埼沖まで北西に北上する流路となり、熊野灘、遠州灘、大島西水道に向けて暖水波及が見られた。

## [県下沿岸域]

上旬は伊東、稲取、下田で「平年並」、雲見、沼津、焼津で「やや高め」であった。中旬は伊東、稲取、下田、沼津、焼津で「やや高め」、雲見で「高め」であった。下旬は伊東、稲取、下田で「平年並」、雲見、沼津、焼津で「やや高め」であった。

## [竿釣りカツオ]

2月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海及び沿岸竿釣り船によるカツオの水揚げは1.8トンで前年同月(4.1トン)の44%であった。魚価は278円/kgで前年同月(402円/kg)を下回った。

なお、漁場や魚体サイズは聞き取り調査ができなかったため不明である。

竿釣り(近海+沿岸船)カツオ水揚量(県内主要5港)

期間	水揚量(トン)	水揚隻数	平均水揚量/隻(トン)	平均単価(円/kg)
R4年2月上旬	1.8	2	0.9	278
中旬	0	0	-	-
下旬	0	0	-	-
R4年2月計	1.8	2	0.9	278
R3年2月計	4.1	1	4.1	402
R2年2月計	0.0	0	-	-

## [定置網]

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は541.7トンで、前年(525.2トン)の1.0倍、平年(222.4トン)の2.4倍であった。また、1か統あたりの水揚量は77.4トン(前年:75.0トン、平年:31.8トン)であった。水揚量の多い漁場は、古網漁場(181.2トン、マイワシ、さば類、アカカマス)、次いで北川漁場(137.1トン、マイワシ、スルメイカ、さば類)であった。

多獲された魚種の水揚量は次頁(表)の通りで、マイワシは307.0トンで、前年比1.0倍、平年比8.4倍であった。さば類は147.3トンで、前年比1.4倍、平年比5.1倍であった。水揚げされたさば類のうち、マサバは37.3トンで、前年比1.0倍、平年比7.0倍、ゴマサバは110.0トンで、前年比1.6倍、平年比4.7倍であった。スルメイカは61.0トンで、前年比4.2倍、平年比2.5倍であった。アカカマスは9.0トンで、前年比11.1倍、平年比27.1倍で、2月の水揚量としては昭和57年以降、最も多かった。カタクチイワシは3.6トンで、前年比9%、平年比7%であった。

多獲された魚種の主な漁場は、以下(表)の通りで、各漁場の水揚量の割合は、マイワシでは古網漁場が45%(139.4トン)、北川漁場が37%(114.7トン)、さば類では川奈漁場が36%(53.0トン)、富戸漁場が36%(52.9トン)、古網漁場が16%(24.3トン)、スルメイカでは富戸漁場が33%(20.3トン)、北川漁場が22%(13.1トン)、アカカマスでは古網漁場が87%(7.8トン)、カタクチイワシ

では伊豆山漁場が54% (2.0トン)、古網漁場が38% (7.8トン) を占めた。

\* 平年：昭和57年～令和3年の平均値

(表) 多獲された魚種の水揚量と主な漁場

魚種	水揚量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
マイワシ	307.0	1.02	8.41	古網、北川
さば類	147.3	1.39	5.09	川奈、富戸、古網
スルメイカ	61.0	4.21	2.52	富戸、北川
アカカマス	9.0	11.07	27.10	古網
カタクチイワシ	3.6	0.09	0.07	伊豆山、古網

**[サバたもすくい]**

小川港所属の棒受網漁船は月を通じてたもすくい漁業主体で操業し、漁場は利島に形成された。水揚量はマサバ488トン(前年同月79%)、ゴマサバ37トン(前年同月比45%)であり、1隻あたり水揚量はマサバ28.7トン(前年同月比1.5倍)、ゴマサバ2.2トン(前年同月比84%)であった。

1kgあたり平均単価は、マサバは121円で前月(126円)とほぼ等しく、前年同月(96円)を大きく上回った。ゴマサバは100円で、前月(114円)、前年同月(111円)を下回った。

水揚物の体長組成は、マサバは34cm、ゴマサバは29cmにモードを持つ単峰型を示した。

小川港 さば類(たもすくい網漁業) 水揚量

期 間	水揚量(トン)		水揚 日数	水揚 隻数	水揚/隻(トン)		単価(円/kg)		漁 場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
R4年 2月上旬	292	33	4	10	29.2	3.3	127	102	利島
中旬	176	3	3	5	35.1	0.6	111	93	利島
下旬	20	1	1	2	10.1	0.5	125	76	利島
R4年 2月 計	488	37	8	17	28.7	2.2	121	100	利島
R3年 2月 計	618	82	11	32	19.3	2.6	96	111	大島千波、利島
R2年 2月 計	1,259	51	13	42	30.0	1.2	125	120	利島、銭洲

\*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

\*表中の「-」は水揚げがなかったこと、「0」は水揚げがごく僅かであったことを示す。

**[まき網(いわし類)]**

マイワシの水揚量は、伊東港では205.8トン(前年同月比1.3倍、平年同月比98.5%)、沼津港では1,236.8トン(前年同月比2.6倍、平年同月比1.5倍)、小川港では763.5トン(前年同月比3.6倍、平年同月比1.6倍)、静浦港では0.4トン(前年、平年とも水揚げ無し)であった。カタクチイワシは、伊東港では2.0トン(前年同月比69.2%、平年同月比3.5倍)、小川港では0.04トン(前年同月比37.6%、平年同月比26.9%)、静浦港、沼津港では水揚げが無かった。

なお、伊豆半島東岸の大型定置網7か統の水揚量は、マイワシは307.0トン、カタクチイワシ3.6トンであった。

\* 平年：過去5か年(平成29～令和3年)平均値

**[調査船駿河丸の動向]**

2月4日～2月4日 ドックへ回航(三保造船所)

(1日間)

静岡県水産・海洋技術研究所のホームページ

パソコンからは..... <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは..... <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と関東・東海海況速報を見ることができます。

